

A young man with dark hair is focused on working on a white robotic model. He is using a blue-handled tool to adjust a component. The model has a white body with yellow and black accents. In the background, other students are blurred, and a desk lamp is visible. The overall scene is a classroom or workshop setting.

2024 年度 事業計画

2024 年 3 月 8 日

学校法人 明倫学園

学校法人明倫学園 2024 年度事業計画

I. 経営改善計画の進捗状況

本学園は、中長期計画となる2020（令和2）年度から5ヵ年計画となる経営改善計画を策定し、教学改革、学生確保を中心とした経営基盤強化に取り組み、社会的人材需要が高まる中で、歯科技工士学科、歯科衛生士学科を併設する本学の特長を生かし、歯科医療技術者を志す学生を確保し、次世代を担う歯科技工士、歯科衛生士の養成を目指しています。

計画4年目となる2023（令和5）年度は、「多様な学びの在り方を実現する新たな教育プログラム及び学修支援を提供する」、「財務の健全化を確実に進めるとともに、社会ニーズに即し、かつ、働きがいのある学園経営・大学運営を目指す」2つの項目を重点事項（基本方針）とし、それぞれ経営改善計画に即した実行計画を設定し、学生の確保と財務基盤強化に鋭意努めました。歯科衛生士学科においては、長期履修学生制度を応用した働きながら学べる「社会人プログラム」を導入し、現職の歯科助手等、新たな志願者層を開拓し、入学定員充足率も100パーセントを超えることができました。また、歯科技工士学科においては、昨年に引き続き厚生労働省補助事業「歯科技工士の人材確保対策事業」に採択され、チェアサイドでの働き方やデジタル人材の育成等、歯科技工士のリスキリングを提供し好評を得ています。省エネ対策、各種補助事業や寄付金の増収により、財政状況も好転することができました。

しかしながら新型コロナウイルス感染禍の終焉に伴う大学進学志願者の県外流出が再加速したことに伴い、2024年度入学生確保について再び厳しい環境となっている他、施設・設備の劣化状況も顕著となっていることから施設・設備更新計画の前倒しでの実行も必要となっています。

2024（令和6）年度事業計画は、5ヵ年間の経営改善計画最終年度となりますが、上記の2023年度の経営改善計画進捗状況と学内外の環境分析を踏まえ、より社会貢献に資する人材を育成するために、本学の存立意義を改めて見直すとともに、経営基盤の強化を図ることを目的とし、①歯科技工士学科の教育体制整備、②歯科衛生士学科「社会人プログラム」の充実と学生確保、③専攻科の充実と学生確保、④附属施設の収益性の向上、以上4項目を重点事項とする事業計画を策定しました。

II. 事業計画

2024年度事業計画は、4つの重点事項を中心に、経営改善計画進捗状況を踏まえ、教育・研究活動、大学運営・管理の2面から次のとおり設定し、経営改善計画の当初目標を達成し、本学の将来像の実現に向け、役員・教職員一丸となって取り組みます。

1. 建学の精神・ミッションを踏まえた学校法人の目指す将来像

「人格の陶冶」、「知識と技術の修得」、「社会への医療技能の還元」の建学の精神のもと、全国的な歯科技工士志願者数が減少する中で、歯科技工士学科、歯科衛生士学科を併設する本学の特長を生かして、次世代を担う歯科技工士・歯科衛生士の養成を目指します。

2. 教育・研究

(1) 歯科技工士学科の教育体制整備

- ① 附属歯科診療所や新潟県歯科技工士会等と連携し、多様な歯科技工士の働き方を提示することで、学生がなりたい歯科技工士を目指すことができる教育体制を整備します。
- ② 附属歯科診療所および歯科衛生士学科を併設する本学の教育環境を生かし、口腔介護や訪問歯科診療等のフィールドワークを導入することで、超高齢社会のわが国において歯科医療に貢献することができる歯科技工士を養成します。
- ③ 長期履修制度を活用し、社会人が働きながら資格を取得できる教育体制を整備します。
- ④ 新人教員を効率的に配置し、学生目線に立った教育を取り入れます。

(2) 歯科衛生士学科「社会人プログラム」の充実

- ① 地域の歯科保健・医療のニーズに即した実践的歯科衛生士を育成します。
- ② 社会人プログラムにより就学している学生および関係教職員へのアンケート・ヒアリング等をとおして、教育プログラムの運用上の問題点を把握し、録画システム等の環境整備を進め、教育体制の改善と充実化に努めます。
- ③ 講義・実習のビデオコンテンツを更新すると共に、新たなコンテンツを作成、蓄積し、生の負担軽減および学修効果を高めます。

(3) 専攻科が社会から求められるための教育の充実と整備

- ① 歯科臨床に即した知識と技術を有する人材を育成するために、歯科技工士学科の教育課程と連携した4年間をパッケージ化し、シームレスな教育体制を構築します。そのために歯科技工士学科からの進学率30%を目指します。
- ② 高度な臨床歯科技工技術を修得させるために、本学歯科衛生士学科および新潟県歯科技工士会や校友会等の外部団体と連携し、フィールドワークやインターンシップを組み込んだ多彩な技術教育を展開します。
- ③ 学位取得を目指す学生に対して、学修成果レポート製作の指導体制を強化・整備します。また学位取得を希望する社会人歯科技工士の入学を積極的に受け入れます。
- ④ 学位取得を希望しない学生に対してそれぞれの能力に応じた技工技術の向上を図るため、細やかな教育体制を整備します。

3. 大学運営・管理

(1) 学生募集対策

① 分析に基づいた効果的広報活動への見直し

従来の広報活動に対する効果を分析し、その結果に基づいて体制を抜本的に見直し、広報活動を強化します。

② 社会人広報体制の整備

社会人をターゲットとした広報活動を強化した体制を整備します。

③ 県外広報体制の強化

隣県を中心として、新潟県外の方をターゲットとした広報活動を積極的に行います。

④ 多様な修学支援制度による入学者確保

「社会人プログラム」を利用した就業支援制度や、経済的進学困難者に対する修学支援制度を広く広報します。

⑤ 専攻科の広報強化

他学からの専攻科への志願者を確保するための広報計画を策定し、広報活動を積極的に行います。

(2) 財務基盤強化

① 附属歯科診療所の運営改革

クリニカルパスを用いることで、歯科衛生士を主体とした予防管理型の歯科医療サービスを徹底するとともに、本学の強みである学校歯科健診と訪問歯科診療を体系化し、患者のライフステージに沿った口腔保健指導を推進し、健康長寿の延伸に貢献する歯科診療所を目指します。

② 収益事業の収益性の向上

イ) 歯友会居宅介護支援センター

介護保険に係る法令遵守を徹底し、職員間の情報共有を図ることにより収益確保と事業所運営の安定化を目指します。

ロ) 国際技術交流会館

寮生の要望による住環境改善に取り組み、満足度を向上させ入寮生増加を目指します。

③ 光熱費節減対策の継続

高騰している光熱費について、前年度に引き続き冷暖房等の利用時間を調整し、光熱費節減を目指します。

(3) ガバナンス体制強化

① 寄附行為変更

寄附行為を変更し、新たな将来像を描ける執行体制の構築の検討を開始します。

② 働きやすい職場づくりと業務効率化

やりがいがあり、働きやすい職場づくりに努め、業務の効率化を進め、効率のよい学園運営を目指します。

③ 中長期計画の策定

リスクシナリオとともに、新たな中長期計画を策定します。

以上